



しおかぜ通信

学校教育目標「自ら学ぶ子供」 R7,8,27 No,15

八代市立郡築小学校
校長 村嶋 博史



郡築小ホームページ

8月11日に発生した大雨で、被害に遭われた方々に心よりお見舞い申し上げます

2学期の始業式を行いました

8月25日(月)に2学期の始業式を行いました。開始10分前に体育館に入ると、既に6年生が整然と並んで座っていました。その後入ってきた下級生もその姿を見てか、全員静かに入場し整然と並んでいました。背中で教える6年生の姿に頼もしさと、気づき感じて動く下級生の姿に誠実さを感じ、大変嬉しく思いました。そして、2学期での大いなる発展を予感しました。

転入生※の紹介に続き行った始業式では、校長講話として、主に「気持ちの切り替え」と「学期の変わり目は自分を変えるチャンス」、「2学期の学校全体としての目標」について話しました。

「気持ちの切り替え」では、時間は戻らないのだから、「夏休みモードから2学期モードにさっと気持ちを切り替えて、出遅れることなく2学期のスタートを切ろう」などと話しました。

「学期の変わり目は自分を変えるチャンス」では、「これまでの自分の姿を振り返り、なりたい自分を定めて、変える努力をしよう」などと話しました。

「2学期の学校全体としての目標」では、学校教育目標「自ら学ぶ子供」の土台づくりとして取り組んでいく「やつしろスピリット(あいさつ・ききかた・そろえかた)と自分の心に線を引く」の意義について一つずつ再確認すると共に、1学期の実態調査を基にした2学期の達成目標を数値で示し、その高まりを促しました。

そして、校歌斎唱後、式を閉じました。

2学期もすべての子供が、安心・安全に学校生活を送るように、全職員で見守り支えていきます。保護者の皆様並びに地域の皆様におかれましては、学校教育活動に変わらぬご理解とご支援をいただきますようお願いします。なお、学校教育活動などに係る疑問は、情報集約担当者もしくは教頭に速やかにそしてお気軽にお尋ねください。誠意をもってお応えします。

※転入生は2年生に1人入りました。一日も早く本校での生活に慣れるように支えていきます。



保健指導及び発育測定を行いました

8月26日(火)に全児童を対象に保健指導及び発育測定を行いました。

2校時に体育館をのぞくと、3・4年生が保健指導及び発育測定を受けていました。子供たちは、健やかな成長のために必要な生活様式などについて養護教諭から詳しく話を聞いた後、身長や体重、視力の測定に臨んでいました。

まだ午前9時台ではありましたが、館内は大変蒸し暑く、学校中の扇風機を集めてフル稼働させながらの測定でした。



PTAあいさつ運動に感謝します

保護者の皆様には、朝のご多用な時間にもかかわらず、あいさつ運動にご参加いただき心より感謝します。おかげさまで、子供たちは朝から笑顔で校門をくぐっていました。

先日参加した八代市PTA研究大会での講演会で、講師の大畠氏(元県立高校校長、元九州ルーテル学院大学客員教授)は、「大きな声での挨拶と返事は心のスイッチをONにする」「スイッチが入れば、心はやる気状態になる」、そして「私は高校生にまず親に挨拶するように言ってきた」と話されました。確かにその通りで、私も毎朝交わす子供たちとの挨拶で、やる気スイッチが入り、それが一日の活力になっています。

本校では、自分から挨拶する意義や大切さを教えると共に、「子供は大人を映す鏡」と言われることから、職員(大人)が日々率先垂範して、子供たちに習慣化させようとしています。